

経営比較分析表（令和4年度決算）

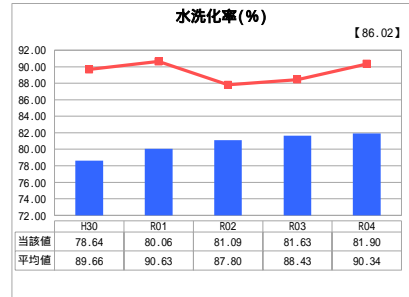
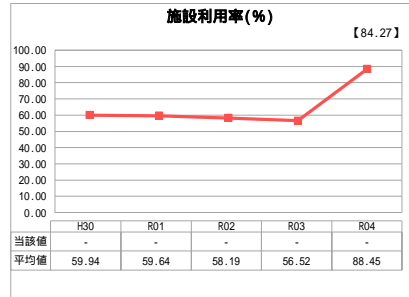
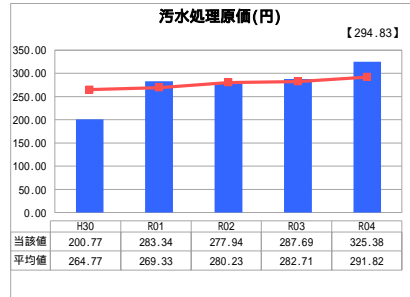
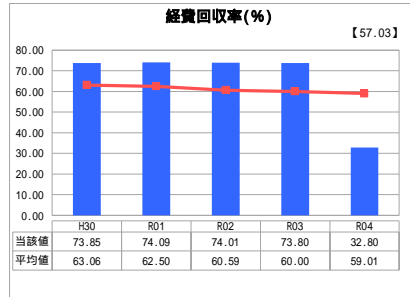
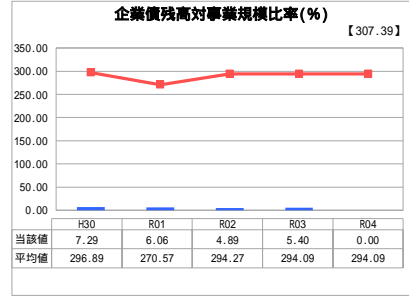
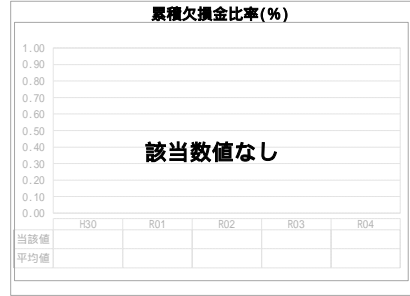
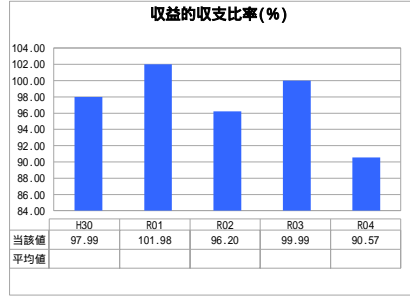
熊本県 苓北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	18.51	100.00	3,300

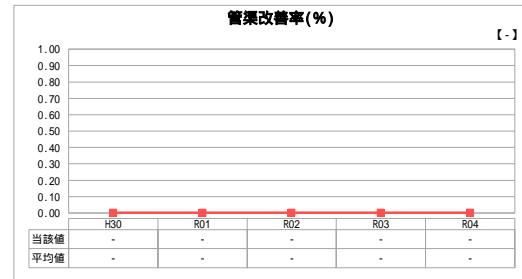
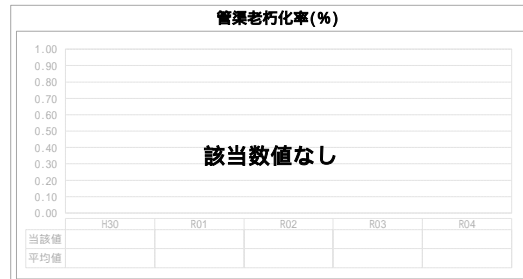
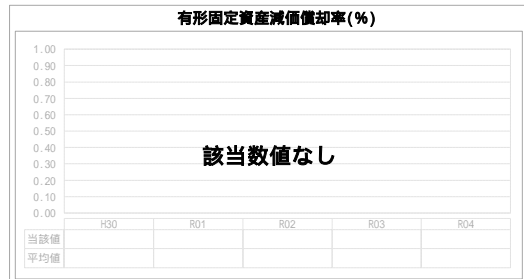
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
6,571	67.58	97.23
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
1,199	0.10	11,990.00

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・ について
 収益的収支比率が前年と比較し-9.42ほど落ち
 ており、赤字経営となっており、高齢者減免による
 使用料の減少や修繕費の増額が影響している。に
 関してはコロナ対策として行った使用料の減免措置
 の影響で前年度比較で大幅な減少となった。
 について
 企業債残高は、毎年計画的に償還しており、類
 似団体と比較してもかなり低い水準を維持してい
 る。しかし、償還に係る費用については一般会計か
 らの繰入金に依存している。
 について
 汚水処理原価については、過去5年で比較すると
 増加傾向にあり、設置した浄化槽やプロワが耐用年
 数を迎えることが影響していると考えられる。軽
 微な修繕により交換時期を遅らせることで費用の
 効率性アップにつなげなければならない。
 について
 水洗化率が類似団体平均値より下回っているた
 め、単独処理浄化槽世帯の合併処理浄化槽への転換
 を促進し、環境保全と使用料収入の増加につなげ
 なければならない。

2. 老朽化の状況について

苓北町では、特定地域生活排水処理事業を平成10年
 度から開始しており、それ以前に個人に設置し、移
 管された合併処理浄化槽についても清掃及び保守点
 検並びに法定検査を受検し、適正な維持管理を行っ
 ている。耐用年数について、浄化槽躯体が30年、プ
 ロワ等の付属機器が7～15年と言われている。付属
 機器については経年劣化により故障等が発生した際
 に交換等をしてはいるが、浄化槽躯体については、使
 用方法次第では著しく老朽化や劣化が生じているも
 のがある可能性もある。大規模な修繕や浄化槽の取
 替等で多額の経費が必要となる前に、清掃や保守点
 検時に異常を早期発見し、修繕を行い長寿命化を
 図っていく。特に、事業開始以前に設置された浄化
 槽については、注意して維持管理していく。

全体総括

収入については、独立採算が原則であるが、使用
 料収入のみで賄えておらず、不足分を一般会計から
 の繰入金に頼っている。さらに、高齢者世帯への減
 免措置や、人口の流出に伴う休止等により使用料が
 減少傾向にある。下水道や農業集落排水事業区域外
 において、汲み取りや単独処理浄化槽の世帯が存在
 するため、合併処理浄化槽への積極的な転換を促進
 し、使用料収入及び水洗化率の向上、水環境の保全
 につなげていかなければならない。
 支出については大規模な修繕が発生しないよう
 に、適正な維持管理に努め、不要な支出が発生しな
 いようにする必要がある。